

# 株式会社横浜アートニクス

## 2018 年度環境経営レポート

(対象期間 2018 年6月1日～ 2019 年5月31日)



作成日： 2019年6月4日  
更新日： 2019年6月19日

## 目 次

項 目	ページ
<input type="checkbox"/> 環境経営方針	3
<input type="checkbox"/> 組織の概要	4
<input type="checkbox"/> 認証・登録の対象組織・活動	4
<input type="checkbox"/> 環境経営の組織図及び役割・責任・権限表	5
<input type="checkbox"/> 主な環境負荷の実績	6
<input type="checkbox"/> 環境経営目標及びその実績	7
<input type="checkbox"/> 環境経営計画の取組結果とその評価	7 ~ 8
<input type="checkbox"/> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
<input type="checkbox"/> 外部からの環境上の苦情・要請等	8
<input type="checkbox"/> 緊急事態対応の試行・訓練	9
<input type="checkbox"/> 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
<input type="checkbox"/> 取組紹介欄	9

# 環境経営方針

## 【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

## 【行動方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に努めます。
  - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
  - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
  - ③節水に努めます。
  - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
  - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境活動レポートを社内外へ公表します。
5. 環境方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

制定日：2008年10月1日

改定日：2015年6月1日

代表取締役社長 久家 雅英

## □組織の概要

更新日：2019年6月1日

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社 横浜アートニクス  
代表取締役社長 久家 雅英
- (2) 所在地  
本 社 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル606-B
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 技術部マネージャー 立部 貴己男 TEL:092-846-0611  
担当者 木實 幸代 TEL:092-846-0611

- (4) 事業内容  
電気・電子機器の設計開発  
・回路設計 ・FPGA(Fied Programmable gate array)設計  
・実装設計 ・プリント配線設計

- (5) 事業の規模  
売上高 292 百万円

	本 社	派遣先企業(※1)	合 計
従業員 名	9 名	20 名	29 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	131.07 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	

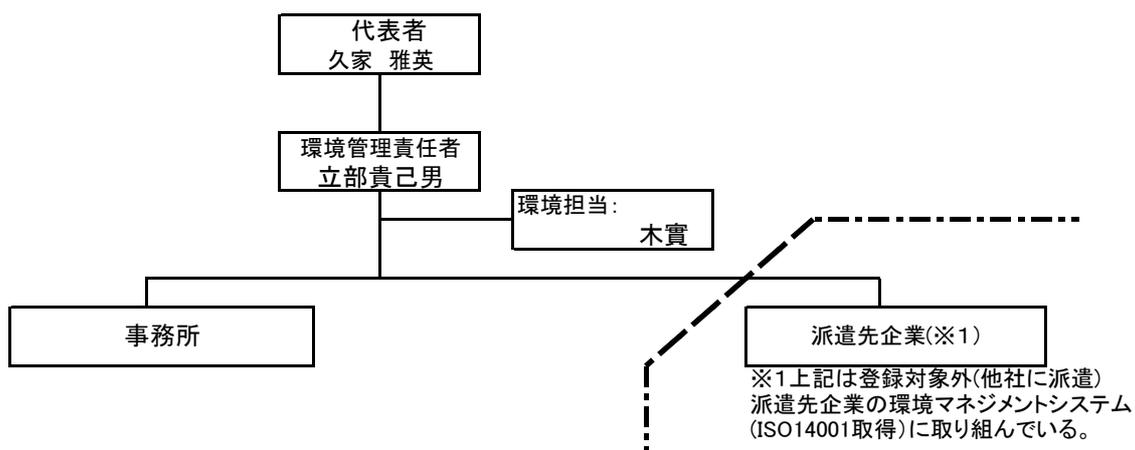
※1 20名は一般派遣従業員等として社外勤務の為、実質エコアクション対象従業員は9名である。

- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 横浜アートニクス  
対象事業所： 本 社  
活動： 電気・電子機器の設計開発

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する最高責任者</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な資源(資金、人材等)を用意する</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
活動参加者 事務所内従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境活動の推進</li> <li>・環境管理責任者の指示への対応</li> </ul>

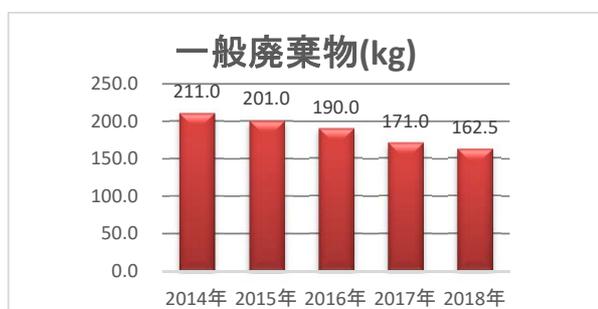
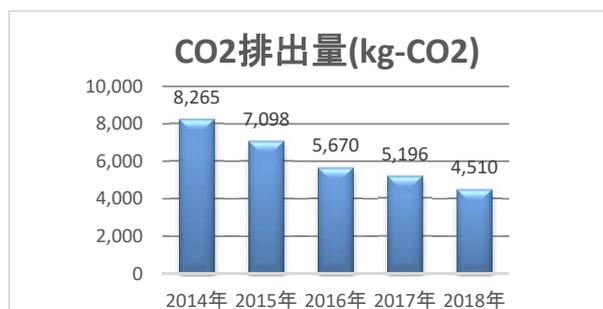
## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	8,265	7,098	5,670	5,196	4,510
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	211.0	201.0	190.0	171.0	162.5
コピー用紙使用量	kg	18.68	16.35	15.85	10.46	9.06

※二酸化炭素排出係数 0.463 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (九州電力:2017年度調整後排出係数)

※水使用量: 当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※化学物質: 当社は化学物質の使用がありません。



## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2018年		評価	2019年 (目標)	2020年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,196	4,936	4,510	○	4,677	4,417
	基準年度比	2017年	95%	87%		90%	85%
	原単位	kWh/千円	0.043	0.041		0.033	○
一般廃棄物の削減	kg	171.0	165.9	162.5	○	162.5	159.0
	基準年度比	2017年	97%	95%		95%	93%
コピー用紙の削減	kg	10.46	9.41	9.06	○	8.89	8.37
	基準年度比	2017年	90%	87%		85%	80%
グリーン購入の推進	事務用品	—	—	24	×	—	—
	グリーン用品	—	—	10		—	—
	対応率(%)	—	50.5%	41.7%		51.0%	51.5%

※コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m<sup>2</sup>(3.7422g/枚)にて算出した。

※水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

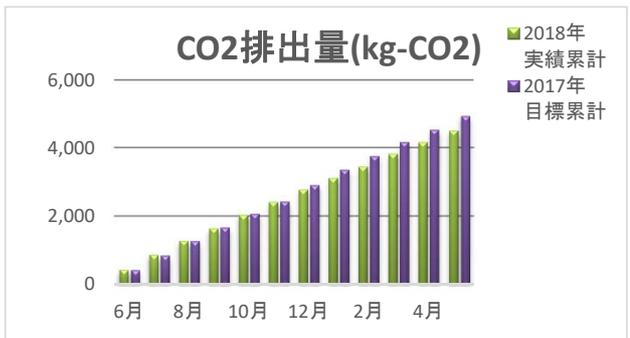
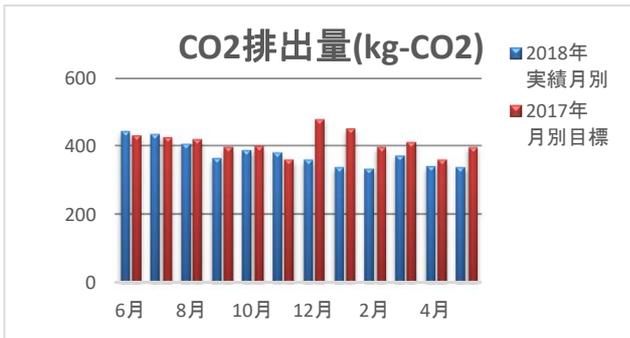
※製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は設定しない。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

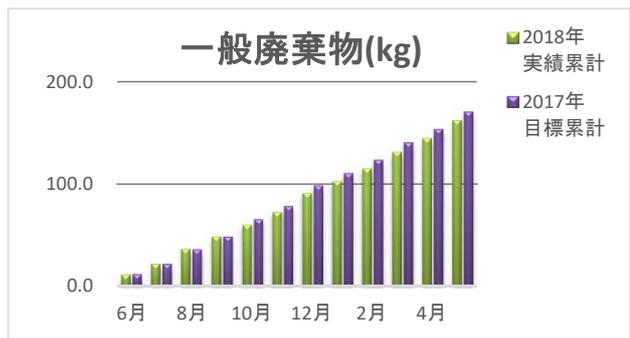
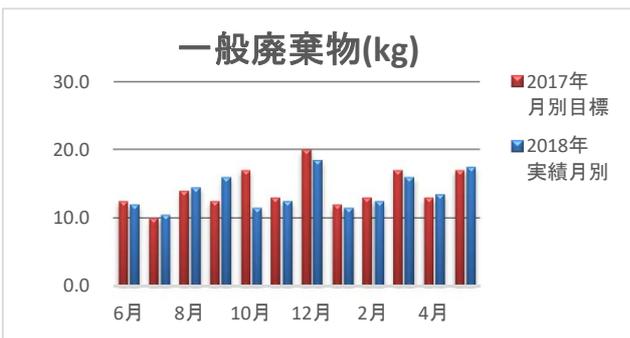
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。
・空調温度の適正化(冷房26℃~28℃ 暖房22℃~20℃)	◎	今年度は、6月~8月でCO2使用量累計が達成出来なかったがそれ以外の月で目標値より下回り結果として目標値達成出来た。勤務前及びお昼休みの照明消灯を行い、出来るだけ冷暖房機の使用を2基で行うよう心掛けた。次年度も継続して取り組む。
・外気温が比較的低い場合、窓の開閉にて温度調整を行う。	○	
・クールビズ・ウォンビズでの服装による温度調節	○	
・朝8時30分まで消灯、昼休み消灯	◎	
・電気製品の電源OFFの徹底	◎	



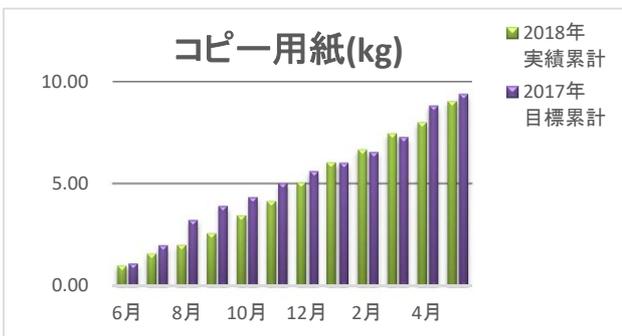
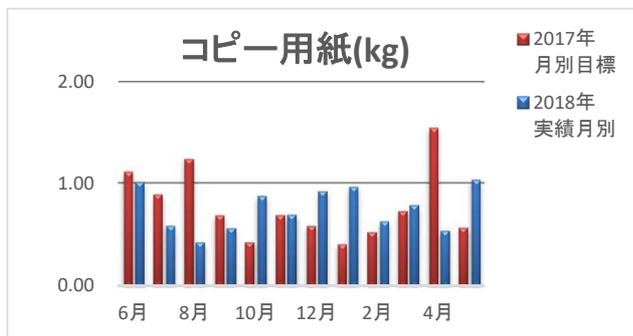
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年 月別目標	432	427	420	398	401	361	479	452	398	412	361	397
2017年 目標累計	432	859	1,279	1,677	2,078	2,439	2,917	3,369	3,767	4,179	4,540	4,936
2018年 実績月別	444	436	407	365	388	382	361	339	334	373	342	339
2018年 実績累計	444	880	1,287	1,652	2,041	2,422	2,783	3,122	3,456	3,829	4,171	4,510

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。
・燃えるゴミ=資源ゴミ(管理ビル共通処理方法変更)の為、分別の徹底を行う。	○	前半は人数の変更もなく出るゴミの量も毎月ほぼ変わらなかった。後半は4月、5月で事務所作業者が3名増えた事により若干のゴミが増えたが、最終的に累計では目標達成出来た。目標計画は次年度も継続して取り組む。
・回収専用ボックスを設置し、用紙裏面の有効活用を推進する。	○	
・古紙のリサイクル化	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年 月別目標	12.5	10.0	14.0	12.5	17.0	13.0	20.0	12.0	13.0	17.0	13.0	17.0
2017年 目標累計	12.5	22.5	36.5	49.0	66.0	79.0	99.0	111.0	124.0	141.0	154.0	171.0
2018年 実績月別	12.0	10.5	14.5	16.0	11.5	12.5	18.5	11.5	12.5	16.0	13.5	17.5
2018年 実績累計	12.0	22.5	37.0	49.0	60.5	73.0	91.5	103.0	115.5	131.5	145.0	162.5

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。
・プロジェクター使用による用紙使用量の削減	△	10月～3月に掛けて使用枚数が目標より増えたが、これは外国人雇用の為に提出書類等が増えた為と考えられが、それでも年間を通して基準値より1.4kg削減出来た。次年度も継続して取り組む。
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	△	
・裏紙再利用	○	
・用紙 (A4コピー用紙→坪量60 g/m <sup>2</sup> (3.7422 g))	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年 月別目標	1.12	0.89	1.24	0.69	0.43	0.69	0.59	0.41	0.53	0.73	1.54	0.57
2017年 目標累計	1.12	2.01	3.24	3.93	4.36	5.05	5.64	6.05	6.57	7.30	8.85	9.41
2018年 実績月別	1.01	0.59	0.43	0.57	0.88	0.70	0.92	0.97	0.63	0.79	0.54	1.04
2018年 実績累計	1.01	1.60	2.03	2.59	3.47	4.17	5.09	6.06	6.69	7.48	8.02	9.06

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年度は24品数のうち10品数をグリーン購入し対応率としては41.7%と目標より下回ったが、購入する際は必ずグリーン商品を確認し対応を行った。次年度もグリーン商品購入に努める。目標値は見直しの必要あり。
・有害性の少ない資材の購入	○	
・事務用品グリーン購入対応率向上	×	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	日常的に節水に取り組み。
・事務所内節水ポスター掲示	○	
・日常的に節水を心掛ける	○	

製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標は行わない	—	受託業務開発使用への進言を主に環境を配慮した設計に取り組んだ。次年度以降も、常に環境性を配慮した設計に取り組む。
・開発仕様への参画	○	
・低消費電力を目的とした装置設計	○	
・有害物質を含まない装置設計	○	

### □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	期間中の廃棄OA機器なし	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル等	期間中の廃棄小型家電なし	○
家電リサイクル法	冷蔵庫・テレビ	期間中の廃棄家電なし	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2018/10月参加)	○
労働基準法	年5日の年次有休休暇の確実な取得	社員が請求する時季に与える。	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物、蛍光灯ランプ、一次電池	当ビル指示に従って分別	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

### □外部からの環境上の苦情・要請等

- ・管理事務所より蛍光管破棄場所・方法の変更についてすべての入居企業に要請通知あり(2018.10.12)
- ・管理事務所より防火・防災対策について管理事務所よりすべての入居企業に要請通知あり(2018/12.17)

## □緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 天神付近を震源とした震度6弱程度の地震が発生、その後しばらくして当ビル高層棟7階湯沸室付近で出火	
■実施日： 2018年10月17日(水) (15:00～16:30)	■実施場所 当ビル1階エントラスホール
■参加者： 王、立部、古藤、久家、木實	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
14:55 訓練予告放送 15:00 訓練開始 ・地震発生、緊急地震速報で開始 (警報音：チャイム「緊急地震速報です強い揺れに注意して下さい」 地震情報⇒館内放送が流れる。 15:05頃 火災発生(7階湯沸室付近)⇒防災センターより初期消火班が初期消火へ向かう。 ↓ 15:15頃 避難開始(避難放送)⇒1階避難場所へ避難 ↓ 15:30頃 避難⇒完了(自衛消防隊本部受付へ会社名と避難人数を報告) ↓ 【全員避難後】 早良消防署からの総評 【避難訓練終了⇒消火訓練、人命救助訓練を早良消防署の下に実施】 16:00～ 消火器による消火訓練、AEDを使用した人命救助訓練の実施	
■評価：	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
今年も福岡市中央区天神付近を震源とした震度6弱の想定で総合防災訓練が行われました。参加者は5名でしたが、各自館内放送の内容に従って速やかに避難場所まで避難することが出来た。又、避難訓練終了後は希望者のみ消火訓練、AED訓練参加し他会社数名が体験しているのを見学した。	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2019年6月5日

### 【評価】

今年度は、エコアクション21ガイドラインが2017年版へ改定されて初めての取り組みとなったため、基準値を2014年度から2017年度へ変更し、更に前回審査の指摘事項である環境目標数値も見直し環境活動に取り組んだ。その結果、二酸化炭素排出量、一般廃棄物、コピー用紙使用量を削減でき、環境目標を達成することができた。また、生物多様性保全への取組みとして、具体的には「使用済切手等の収集」による環境支援援助に着手した。次年度も、引き続き社員一人一人に環境意識を徹底し、目標達成に向けて取り組みたいと考える。

### 【見直し】

環境目標値について実績を踏まえて見直す。  
その他については特に変更の必要性無しと判断する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □取組紹介欄

生物多様性保全に向けた取り組みを身近なところからおこなってまいります。その一歩として使用済切手や書き損じハガキ等の収集を実施し、市民団体のタンザニアポレポレクラブに送ることで、世界遺産にも登録されているキリマンジャロ山(東アフリカ・タンザニア)での植林活動を支援していきたいと思っております。

